

衝撃～しょうげき～

Show Get-key

第61期 事業報告書 2007年4月1日から2008年3月31日まで

オートバックスセブン
株主通信
vol.23



TOPメッセージ————— 1

特 集

新中期経営計画

「オートバックスBIGプラン」—— 3

ニュースリリース————— 5

オートバックスグループ

新店紹介————— 6

オートバックスグループ商品紹介

タイヤ————— 7

知ってトクするクルマネタ

夏本番前!やっておきたい

エアコンメンテナンス—— 9

財務報告————— 11

店舗情報————— 12

会社情報————— 13

株式情報————— 14

TOPメッセージ

経営効率の向上と コーポレート・ガバナンスの 強化により、 企業価値の最大化を目指します。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

オートバックスセブンの第61期業績報告を兼ねる株主通信「Show Get-key」vol.23をお届けします。

第61期の業績報告

当期の事業環境は、今年2月の太平洋側における降雪によりスタッドレスタイヤやタイヤチェーンなどの需要が喚起されたものの、新車・中古車の登録台数の伸び悩みに加え、ガソリン価格や原材料の高騰などの影響により厳しいものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは「カー用品販売業からトータルカーライフサービス業へ」の変革を図るべく、引き続き「カー用品販売」「車検・整備」「車販売・買取」を3本柱とする事業展開を強力に推し進めてまいりました。

この結果、グループ連結業績において、売上高は2,664億29百万円と前期比9.9%増となりました。これは主に、「車販売」

「車検・整備」の拡大による売上増に加え、新規出店、既存店舗の業態転換、建て直し、リロケーションなどが貢献しました。また、買収した米国カー用品店「AUTOBACS STRAUSS INC.」や、子会社化したオイル卸売会社「パルスター(株)」の売上が加わったことも寄与しました。

しかしながら、営業利益は、国内における中期的なビジネスの成長に向けた車買取システム・POSシステム関連費用や採用・教育関連費用の増加、「AUTOBACS STRAUSS INC.」や「パルスター(株)」の経費の増加などを受け、69億39百万円と前年同期に比べ43.2%の減益となりました。また、経常利益はサブプライムローン問題を契機とする金融市場の混乱を受け、営業外費用として投資有価証券評価損43億26百万円を計上したことなどにより、60億62百万円と前年同期比62.9%の減益となりました。

オートバックスBIG※プラン

※BIG=Business Improvement and Governance (経営改善とガバナンス)

当社は2005年5月に中期経営計画を策定し、「カー用品販売」「車検・整備」「車販売・買取」を3本柱として、国内市場での競争力を強化するとともに、海外への展開や、新規事業に対する取組みを積極的に行ってまいりました。しかしながら、国内においては自動車業界やアフターマーケットの低迷など、当社を取り巻く環境は依然厳しく、海外事業や新規事業も当初計画からの進捗が遅れており、誠に遺憾ながら2009年3月期を最終目標年とする中期経営計画は見直しが必要となりました。

そこで、事業環境の変化に対応すべく、新たな経営体制により策定した2011年3月期を最終年度とする新中期経営計画「オートバックスBIGプラン」を実行してまいります。

今号において2008年5月15日に発表しました同プランを特集してご説明しています。(詳細についてはP3-4をご参照ください。)

また当社は、「オートバックスBIGプラン」を策定した2008年度を新たなスタートの年と位置づけ、規模拡大から収益性重視に軸足を移し、同プランの達成に向けて全社一丸となって取り組むことで、企業価値最大化の実現を目指します。

株主還元策

当社は「オートバックスBIGプラン」において、資産および資本効率を向上させるとともに、株主還元の強化を図ってまいります。特に配当金に関しては、業績の動向を勘案しながら2011年3月期には連結自己資本配当率(DOE)3%を目指してまいります。株主還元方針のもと、2008年3月期は期末配当金を当初予定の30円から70円へ増配し、その結果、1株当たりの年間配当金は100円といたしました。



新経営体制について

最後になりましたが、2008年6月26日に開催されました第61期定時株主総会において選任いただきました新役員体制のもと、株主の皆様のご期待に沿えるよう「オートバックスBIGプラン」の目標である連結ROE7%以上、連結営業利益160億円に向けて尽力していく所存です。今後とも、当社グループへの変わらぬご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年6月

代表取締役

涌田節夫

決算ハイライト				
	第59期 (自2006年4月1日 至2006年3月31日)	第60期 (自2006年4月1日 至2007年3月31日)	第61期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)	増減率(%)
売上高	240,207	242,532	266,429	9.9
卸売部門	139,543	138,586	145,072	4.7
小売部門	96,865	100,151	117,182	17.0
その他	3,798	3,793	4,174	10.0
経常利益	16,922	16,323	6,062	-62.9
当期純利益	7,860	9,165	1,467	-84.0
1株当たり情報(円):				
当期純利益	210.36	239.01	38.37	-83.9
配当金	52.00	58.00	100.00	72.4
純資産	4,178.23	4,394.15	4,298.70	-2.2
総資産	227,707	240,627	234,126	-2.7
純資産	161,535	168,650	165,205	-2.0

新中期経営計画 「オートバックスBIGプラン」

当社は2008年5月15日、
新中期経営計画「オートバックスBIGプラン」(2008年7月～2011年3月)を策定しました。
今号の特集では、「オートバックスBIGプラン」の概要をご紹介します。

※「オートバックスBIGプラン」の詳細につきましては当社企業サイトにてご覧ください。
<http://www.autobacs.co.jp> トップページ→会社情報→経営計画→オートバックスBIGプラン

「オートバックスBIGプラン」の方針

厳しさの続く事業環境を踏まえ、2009年3月期を最終年度とする中期経営計画をゼロベースから見直し、新たな中期経営計画として「オートバックスBIGプラン」を策定しました。当プランは、経営資源を国内のFC事業および今後成長の見込める事業分野に再配分し、経営効率を高め、収益性を向上させることに重点を置いています。また、経営体制の再構築とリスクマネジメント体制の強化も進めます。すなわち、「事業戦略」「財務戦略」「ガバナンス体制」の3つの側面より、当社の企業価値の最大化を図ることを目指しています。

プランの方向性

当社は引き続き「トータルカーライフサービス」の実現を目指していきますが、分散した経営資源を今一度見直し、カー用品、車検・整備、車販売・買取などのコアとなる事業に集中させる一方、機能集約などコストの効率化を推進することで収益性向上を図ります。また、海外を含めた新規事業については、今後の成長性と採算性の観点から抜本的な見直しを行います。

事業戦略

国内事業

オートバックスFC事業の強化—経営資源の集中配分—

- 店舗収益力の向上(トータルカーライフ店舗へ)
- エリア戦略の再構築

海外事業

抜本的見直しによるメリハリのついた展開

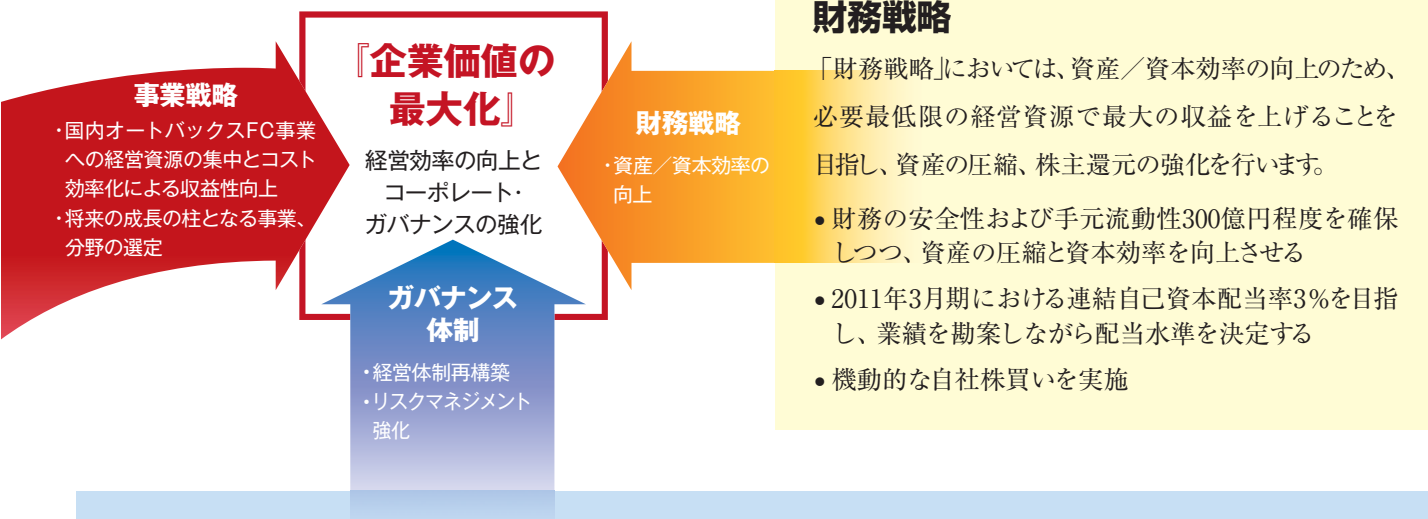
- 国別に方向性を見直し、将来の収益に貢献する国を選定

本部機能／コスト

本部機能／コストの効率化

- 分散・重複した機能の集約とコスト管理の一元化によるコスト削減
- 人材育成による機能高度化

「オートバックスBIGプラン」の方針



ガバナンス体制

「ガバナンス体制」の強化にも着手し、経営体制の再構築およびリスクマネジメントの強化を図っていきます。

経営体制の強化

2007年12月以降実施済みの取組み

- ・社外取締役2名、社外監査役1名の増員
- ・内部統制管理室の新設
- ・適時開示体制、プロセスの再整備
- ・重要案件の審議プロセスの見直しによる判断材料の質の向上とリスク把握精度の向上
- ・経営会議の役割見直しとオフィサー会議の新設

今後の取組み

- ・全社的な組織構造の再点検
- ・オフィサー制の再点検
- ・人員の最適配置の設計
- ・ガバナンス委員会の設置
- ・意思決定プロセスの改善

リスクマネジメント方針と体制の整備

2007年12月以降実施済みの取組み

- ・リスクマネジメント方針の策定
- ・全社的なリスク評価の実施
- ・リスクマネジメント委員会の設置
- ・リスクマネジメント規程、危機管理規程、マニュアルの策定

今後の取組み

- ・リスクに関する規程などの再整備
- ・リスク回避施策の検討、導入

ニュースリリース

1月

- ・「ライコランド小牧インター店」新規オープン(愛知県)
- ・「オートバックスエクスプレス呉羽本郷店」新規オープン(富山県)
- ・“コペン”オリジナルカスタムカー「monoCRAFT DA1」新発売「TOKYO AUTO SALON 2008 with NAPAC」に出展
- ・映画「スピード・レーサー」への製作協力およびタイアッププロモーション開始
- ・「2008 BRIDGESTONE INDY JAPAN 300mile」オフィシャルパートナーに決定
- ・「オートバックス千歳豊里店」新規オープン(北海道)
- ・「OSAKA AUTO MESSE 2008」に出展
- ・「FUKUOKA AUTO SALON 2008 Presented by P-ZONE」に出展

2月

- ・業績予想の修正
- ・当社取扱商品の製造および発売元に対する排除命令の内容
- ・株式会社タニムラの株式の取得(子会社化)を決定
- ・プライベートブランド コンフォートラジアルタイヤ「Maxrun Excela EZ」を新発売
- ・株式会社Tカード&マーケティングとTポイントサービスの提携
- ・ワンコインピットメニューに5メニューを追加
- ・「ライコランド多摩境店」新規オープン(東京都)
- ・「オートバックスとよはし店 テクノキューブ」を開設

3月

- ・人事異動
- ・代表取締役の選任およびその他取締役の異動を決議
- ・「オートバックスBIGプラン」策定を決議
- ・オートバックス女性客プロジェクト「魅☆おなご塾」女性ドライバーのための商品をメーカーとともに開発、導入
- ・「オートバックス・亀岡店 テクノキューブ」を開設
- ・「スーパーオートバックス横浜ベイサイド テクノキューブ」を開設
- ・役員・監査役の異動および人事異動、組織変更の決議
- ・「内部統制システム構築の基本方針」の見直しを決議
- ・SK Advisory Limited. およびARCM Ltd. との契約を解消
- ・プライベートブランドタイヤ誕生30周年記念「12ヶ月連続タイヤでアタルキャンペーン」第1弾QUOカードプレゼント実施
- ・プライベートブランドタイヤ誕生30周年記念モニター募集開始

1 “コペン”オリジナル カスタムカー 「monoCRAFT DA1」新発売 JAN

オリジナルブランドの「monoCRAFT」シリーズに、新たにダイハツ“コペン”をもとにクラシカルなテイストを追求してカスタマイズした「mono CRAFT DA1」を追加しました。そして、2008年1月11日より国内のスーパーオートバックス(74店舗)およびオートバックスC@RS SHOW(8拠点)にて独占販売を開始しました。

ダイハツ工業株式会社から発売された“コペン”をもとにフロントバンパー、フロントフェンダー、ボンネット、リアバンパー、エンブレムをオリジナル化したコンプリートカーとして販売し、パーツについても個別販売を行っています。



2 株式会社Tカード& マーケティングと Tポイントサービス について提携 FEB

2008年10月より、一部を除く全国のオートバックスグループ店舗においてTポイントを使ったり、貯めたりできるTポイントプログラム・サービスを開始します。

付与・還元対象者: T会員

付与・還元内容: 対象店舗で取扱いの商品およびそれに関わる取付作業工賃など

付与ポイント: 100円(税別)につき1ポイント

還元ポイント: 1ポイント=1円

Tカード保有者約2,400万人のT会員はもちろん、当グループ店舗の利用頻度の低い女性客や若年層の来客を促進し、集客力を強化していきます。さらに、Tポイントと提携している業種の異なる41社(2007年12月末現在)と共同で販売促進企画を実施することにより、当社単独のマーケティングよりも高い集客効果を期待しています。一方では当社単独で会員データベースを活用し、商品や地域ごとにターゲットを絞り込んだ広告宣伝活動を行っています。

3 女性ドライバーの ための商品を メーカーとともに開発

MAR

オートバックスは、「女性にもっとクルマを楽しんで欲しい」という女性客プロジェクト「魁☆おなご塾」を展開しています。その一環として、女性向けパッケージ・デザインに変更した約100のアイテムを品揃えているほか、インテリアショップで人気の商品なども加え、女性ドライバーにとって商品を見る楽しさと、買い物する楽しみのある売場の設置を推進しています。こうした中、あらたにプロジェクトの趣旨にご賛同いただいたカー用品メーカー21社と共同で、女性ドライバーが車内でオシャレを楽しめるものや車内の便利グッズ約10アイテムを開発しました。

2005年12月に8名の女性社員が集まって始めたプロジェクトですが、既にオートバックス本部のみならず、各加盟店舗や取引先においても女性客プロジェクトが発足し、オートバックスグループの480店舗、取引先41社のネットワークを築き、今後も商品開発や売場づくりに取り組んでいきます。



オートバックスグループ新店紹介

オートバックス 千歳豊里店



2008年2月1日(金)にオープンした「オートバックス千歳豊里店」
〒066-0022 北海道千歳市豊里5丁目2-1
TEL: 0123-42-8602

ライコランド 多摩境店



2008年3月7日(金)にオープンした2輪車用品店「ライコランド多摩境店」
〒194-0215 東京都町田市小山ヶ丘4丁目3番地5号
TEL: 042-700-7311

オートバックスグループ商品紹介

このコーナーではオートバックスグループの主力商品の最新情報をお伝えしていきます。
今号ではオートバックス1号店からの看板商品である“タイヤ”についてご紹介します。

オートバックスプライベートブランドタイヤ



Maxrun Excela EZ



オートバックスグループでは30年前よりプライベートブランドタイヤを販売しています。現在、通常のタイヤは「Maxrun」(マックスラン)というブランドで、スタッドレスタイヤは「North Trek」(ノーストレック)というブランドで展開しています。他のブランドに比べ安価な価格設定と高い走行性から多数のお客様よりご好評をいただいております。

そのMaxrunブランドの2008年新商品「Maxrun Excela EZ」(マックスラン エクセラ イージー)は、過去のモデルに比べ、走行時の車内静粛性や乗り心地を向上させた最新モデルです。

その他のオートバックスプライベートブランドタイヤ



Maxrun Excela ME3



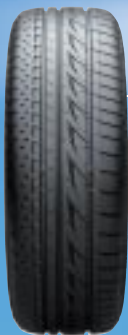
Maxrun Excela II



MAXGRADE SIII



オートバックスグループで取り扱いしている主なナショナルブランドタイヤの最新モデル



BRIDGESTONE
Playz RV

Playz RV
RV-1

従来のミニバン専用タイヤの基本性能に加えプレイズから採用している非対称形状を搭載。これにより路面の段差やうねりなどの外乱入力により発生する、タイヤの横滑りを抑制。路面との接地を安定させることにより、直進安定性と応答性を向上させました。



BRIDGESTONE
ECOPIA EP100

ECOPIA
EPI00

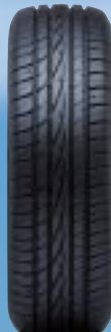
最新技術の採用により、安全性能を犠牲にすることなく、ころがり抵抗を同社比30%低減し、省燃費に貢献。また、新設計パターンにより、優れたブレーキ性能と濡れた路面でのグリップ力向上を実現。安全と省燃費をともに追求した最新モデル。



YOKOHAMA
DNA Earth1

Earth-1

オレンジの皮から抽出される「オレンジオイル」を使用し、進化した新世代のエコタイヤ。新開発の専用ゴムが優れた省燃費性能を発揮し、オレンジオイル配合で濡れた路面での優れたグリップを実現。乗り心地も追求した最新モデル。



DUNLOP・FALKEN
ZIEX ZE912

ZIEX ZE912

快適性と高速性能を併せ持つスポーティー＆コンフォートラジアルタイヤ。スポーティーな走りや優れた快適性を同時に求め、スタイリッシュさをも求めるドライバーの方にお薦めです。



TOYO TIRES
TOYO DRB

TOYO DRB

スタイリッシュなルックスとトータル性能を兼ね備えたストリート系スポーツタイヤ。徹底した軽量化により安定したハンドリングと素早いレスポンスを実現。スポーツ性能と静粛性能、経済性をも高次元でバランスさせた最新モデル。

キャンペーン紹介

オートバックスグループではプライベートブランドタイヤ誕生30周年を記念して、2008年4月1日(火)から2009年3月31日(火)までの1年間、プライベートブランドタイヤのモニターを募集し、月間10名の方にプライベートブランドタイヤをプレゼントしています。

詳細は当社ホームページをご覧ください

<http://www.autobacs.co.jp/>

→ニュース→3月→「プライベートブランドタイヤモニター募集」



プライベートブランドとは チェーンストアが製造を担当するメーカーと共同で商品企画、開発を行い、ストア自身が命名したブランド
ナショナルブランドとは 製造メーカーが独自で商品企画、開発を行い、メーカーが命名したブランド



知ってトクするクルマネタ

夏本番前！ やっておきたい エアコンメンテナンス

エアコンを使うと
嫌なニオイがすることが
ありませんか？

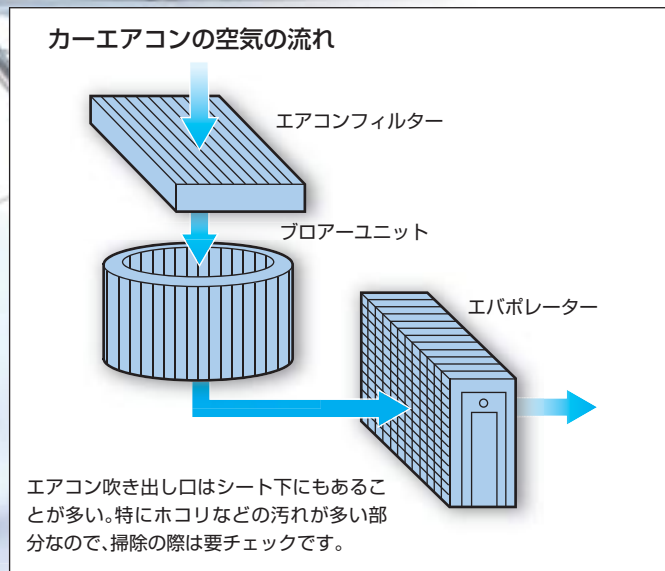
ご存知ですか？

クーラーをつけるとガソリンの燃費性能が低下する！

車種によって異なりますが概ねガソリンの持つエネルギーの約20%が車を動かすために必要とされます。一方、エアコンを動かすと補機駆動損失（コンプレッサーとファンモーターの駆動にパワーを取られる燃費）が増加するため、正味馬力が減少して20%が16～17%に低下します。従ってその3～4%のロスを取り戻すためにアクセルを踏み込むことになり、結果としてガソリン消費が増加してしまうのです。

Point 1 悪臭の原因はカビ

エアコンを入ると吹き出す悪臭は、エアコン内部に水分がたまり、それにホコリやタバコのヤニなどが付着して発生したカビが原因です。エアコンを使用するとクルマの下から水が流れ出てきますが、エアコンで実際に空気を冷却する熱交換部分(エバポレーター)には、空気を冷やす時に温度差で結露が発生して大量の水滴が付着します。この水滴に交ざったホコリが乾いたあと、こびりついてカビ繁殖の元凶となります。



Point 2 カビの胞子を吸い込んでいるわけ…

エアコンの悪臭を不快に感じるということは、車内に充満しているカビの胞子を吸い込んでいるということです。カビは空気中のホコリやゴミを栄養にして繁殖し、付着部分を腐敗させ、いやな臭気を発生させます。そのような時、まずはエアコンフィルターをチェックしましょう。エアコンフィルターは家庭用のエア

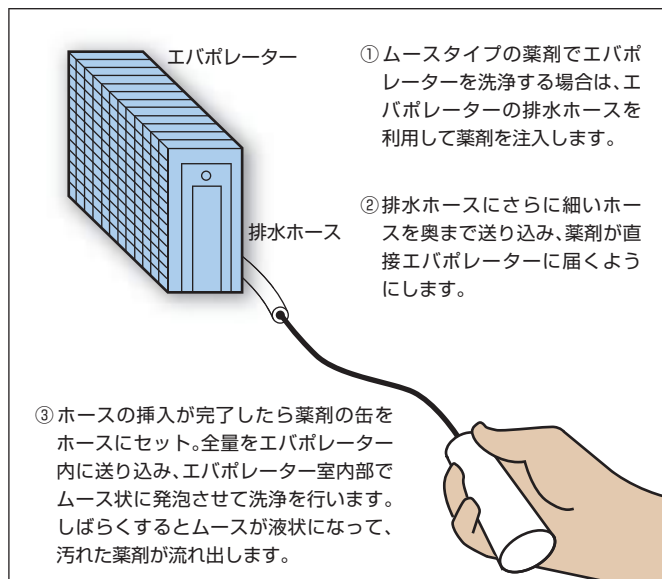
コンと同様に車内に送り込まれる空気をろ過してくれます。多くの場合、助手席前の収納スペースの裏に設置されているので1年に1回は交換しましょう。

Point 3 消臭剤は予防に効果

エアコンの悪臭を緩和するものに、スプレータイプや蒸散タイプの消臭剤があります。ただ、これらは、どちらかという定期的に使用して臭いの発生を抑える予防剤と考えたほうがよいでしょう。

Point 4 ガンコな臭いは元から絶たなきゃダメ

強い悪臭が付いてしまった場合は、洗浄して元から臭いを絶つ必要があります。その方法として、エバポレーター部の排水ホースを利用し、エバポレーター内部で消臭や除菌を行います。これらに使用される洗浄剤には抗菌能力もあるので、そのあとはエバポレーターにカビや雑菌が繁殖しにくくなります。



財務報告

連結貸借対照表

単位:百万円	第60期 (2007年3月31日現在)	第61期 (2008年3月31日現在)	増減
(資産の部)			
流動資産	119,264	117,406	△1,858
固定資産	121,362	116,719	△4,643
有形固定資産	51,925	53,767	1,841
無形固定資産	13,041	16,425	3,384
投資その他の資産	56,395	46,526	△9,869
資産合計	240,627	234,126	△6,501
(負債の部)			
流動負債	48,881	43,570	△5,311
固定負債	23,095	25,350	2,254
負債合計	71,977	68,921	△3,056
(純資産の部)			
株主資本	166,052	165,217	△834
評価・換算差額等	1,942	△882	△2,824
少数株主持分	655	869	213
純資産合計	168,650	165,205	△3,445
負債純資産合計	240,627	234,126	△6,501

POINT1

資産の部

当期末の総資産は、前期末より6,501百万円減少しました。主に減少したものは投資有価証券の売却及び評価減による投資その他の資産です。主に増加したものは、海外カー用品店舗の営業譲受による棚卸資産及び有形固定資産と、システム投資による無形固定資産です。

POINT2

負債の部

当期末の負債の部は、前期末より3,056百万円減少しました。主に支払い手形及び買掛金の減少と長期借入金増加によるものです。

連結損益計算書

単位:百万円	第60期 (自2006年4月 1 日 至2007年3月31日)	第61期 (自2007年4月 1 日 至2008年3月31日)	増減
売上高	242,532	266,429	23,897
売上総利益	74,743	82,852	8,108
営業利益	12,219	6,936	△5,282
経常利益	16,323	6,062	△10,261
税金等調整前四半期(当期)純利益	16,549	4,972	△11,576
四半期(当期)純利益	9,165	1,467	△7,698

POINT3

連結損益計算書のポイント

今期は、国内事業においては車検・車販売などが増加した一方、米国店舗の営業譲受や卸売会社の連結対象化に伴い前年に比べ売上高が23,897百万円増加しました。しかし、連結対象子会社の増加と将来に向けた戦略的な経費の増加により、販売費及び一般管理費が前年に比べ13,391百万円増加し、営業利益が10,261百万円減少しました。経常利益は、投資有価証券の評価損の計上による営業外費用の増加により、前年に比べ11,576百万円減少しました。

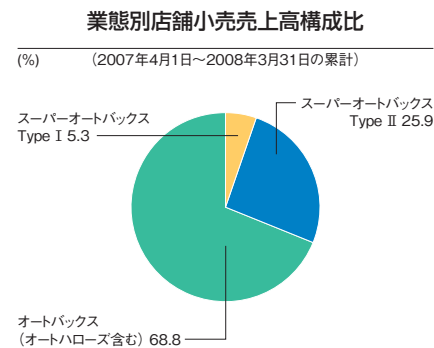
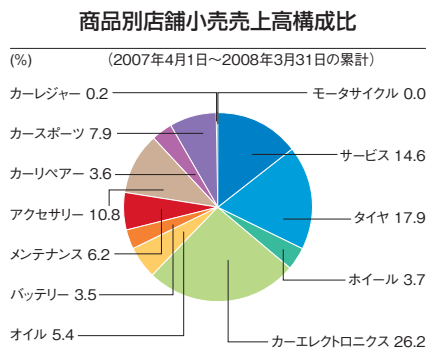
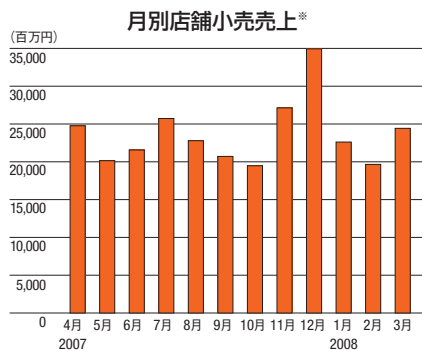
連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円	第60期 (自2006年4月 1 日 至2007年3月31日)	第61期 (自2007年4月 1 日 至2008年3月31日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,215	△645	△17,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,102	△7,993	△891
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,698	△728	3,969
現金及び現金同等物に係る換算差額	189	△221	△410
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	5,604	△9,589	△15,194
現金及び現金同等物の期首残高	53,622	59,226	5,604
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	59,226	49,637	△9,589

店舗情報

2008年3月31日現在

	第59期 (2006年3月31日現在)	第60期 (2007年3月31日現在)	第61期 (2008年3月31日現在)	増減
スーパーオートバックス:	65	70	74	+4
 Type I	6	6	6	—
 Type II	59	64	68	+4
 オートバックス	403	402	399	-3
 オートハローズ	11	11	10	-1
 オートバックス走り屋天国セコハン市場	28	27	31	+4
 オートバックスエクスプレス	6	7	9	+2
海外	19	21	117	+96
合計	532	538	640	+102



※ オートバックス、スーパーオートバックスType I、スーパーオートバックスType II、オートハローズ業態を対象としており、その他業態は含んでおりません。

商 号

株式会社オートバックスセブン(AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)

創 業

1947年2月

資本金

339億9千8百万円

主な事業内容

当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店で並行して国内外にチェン展開しております。

主要な事業所

本社（東京都江東区）

北日本エリア事業部（仙台市泉区）

北関東エリア事業部（千葉市川市）

南関東エリア事業部（千葉県市川市）

中部エリア事業部（名古屋市名東区）

関西エリア事業部（大阪府吹田市）

南日本エリア事業部（福岡市博多区）

欧米事業部（東京都江東区）

アジア事業部（東京都江東区）

中国事業部（東京都江東区）

役員一覧（2008年6月26日現在）

取締役

代表取締役

湧田 節夫

取締役

経森 康弘

井手 秀博

中田 康雄※1

宮内 英樹※1

森本 弘徳

武田 健一

田村 達也※1

服部 範雄※1

監査役

野上 明 常勤監査役

森野孝太郎※2 常勤監査役

住野 泰士 常勤監査役

田邊 健介※2 監査役

池永 朝昭※2 監査役

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役
※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役

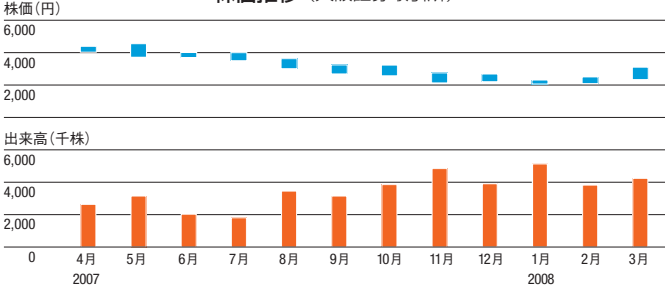
株式情報

2008年3月31日現在

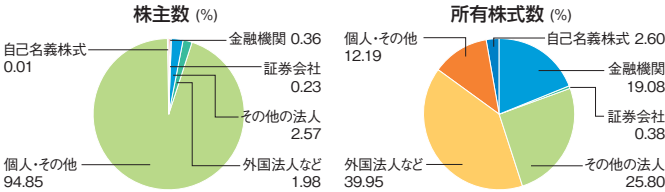
発行する株式の総数	109,402,300株		
発行済株式の総数	39,255,175株		
株主数	12,342名		
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	
	期末配当金	毎年3月31日	
	中間配当金	毎年9月30日	
	なお臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。		
単元株式数	100株		
公告掲載新聞	日本経済新聞		
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所		
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部		
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部		
電話照会先	0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求) 0120-176-417 (その他のご照会)		
名義書換取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店		
大株主一覧	有限会社スミノホールディングス いちご アセット トラスト ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505019 日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口) 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 タム ツー 株式会社スミシヨウホールディングス 日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口4)		

注) 1. 当社は自己株式1,020千株(所有割合2.60%)を保有していますが、当該自己株式は議決権の行使が制限されているため、上記の大株主から除いています(2008年3月31日現在)。
2. 上記以外の名義書換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。

株価推移 (大阪証券取引所)



所有者別状況 (2008年3月31日現在)



住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願いいたします。株主招集ご通知や配当金などを届けできなくなります。
ご変更は、住友信託銀行(株)の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

株主優待制度について

『オートボックス』、『スーパーオートボックス』などで、1,000円(消費税込み)のお買い上げ毎に1枚ご利用いただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている、単元株式数以上を所有する株主の皆さまにお送りしています。

【ご参考】

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株～999株 ご優待券25枚
1,000株～ ご優待券50枚
- ご優待券は商品券・他の値引(買物券、クーポン券、値引券等)を併用の場合、値引き後の金額に対してご利用いただけます。
- ご優待券は日本国内のオートボックス、スーパーオートボックス、オートボックス走り屋天国セコハン市場、オートボックスエクスプレス、オートハローズおよびテクノキューブの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートボックスC@RS、海外店舗ではご利用いただけません。
- ご優待券は燃料、車両、廃タイヤ処分料、保険、税金、飲食、タバコなどにはご利用いただけません。

※ 車検につきましては、重量税、印紙代、自賠責保険料、リサイクル料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけます(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります)。

“2008 AUTOBACS SUPER GTシリーズ第6戦 第37回インターナショナル ポッカ1000km”の 観戦チケットを抽選で10名様にプレゼント!!

当社はクルマに関わる企業として、多くの人々にクルマを楽しむ場所と機会を提供しています。その活動の一環として、国内で最も人気のあるレース「SUPER GT」シリーズをはじめ、さまざまなモータースポーツに協賛しています。

また、元F1ドライバーの鈴木亜久里氏とともに「ARTA Project (AUTOBACS RACING TEAM AGURI)」を設立し、世界に通用する日本人ドライバーの育成を目的として各種レースに参戦しています。

この度、株主の皆様にご感謝の気持ちを込め、「SUPER GT」シリーズの中でも伝統ある耐久レース“インターナショナル ポッカ1000km”の観戦チケットを抽選で10名様にプレゼントさせていただきます。

応募要項

官製はがきに下記①～⑥を明記の上、宛先住所までご送付ください。
なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
(ご応募いただいた方の個人情報を本プレゼント企画の連絡以外の目的で使用することはございません。)

①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥当社IR活動へのご意見、ご感想など

開催概要

大会名称：2008 AUTOBACS SUPER GTシリーズ第6戦
第37回インターナショナル ポッカ1000km

開催クラス：GT500／GT300

開催会場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1周／5.807km)

開催日程：2008年8月23日(土) 予選、8月24日(日) 決勝



宛 先

〒135-8717

東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント

株式会社オートバックスセブン 経営戦略企画室 広報・IR・インフォグループ
「株主通信 SUPER GTチケットプレゼント」係

応募締め切り

2008年7月30日(当日消印有効)

AUTOBACS SEVEN CO., LTD.

株式会社オートバックスセブン

東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント 〒135-8717



この株主通信は、適切に管理された森林を使用したFSC認証紙に、大豆油インキで印刷しています。

お問い合わせ先

●IR情報に関するお問い合わせ先
経営戦略企画室 広報・IR・インフォグループ
電話:03-6219-8718 e-mail:investors@autobacs.com

●住所変更等、株式事務に関するお問い合わせ先
住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求)
0120-176-417 (その他のご照会)

※詳細は14ページをご確認下さい。